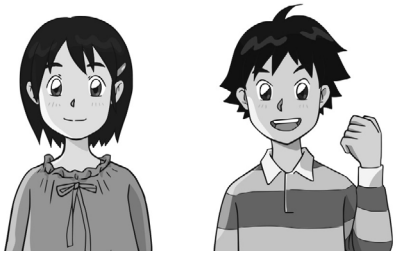
編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
31-115	中学校	外国語	英語	第２学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教　科　書　名		
61 啓林館	英語 806	BLUE SKY English Course 2		

1 編修の基本方針

今後，期待される社会の姿(Society5.0)の実現に向けて，子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い，他者と協働して課題を解決したり，膨大な情報を見極めながら複雑な状況変化の中で，目的に応じて考えを再構築したりするなど，持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を培う観点から，以下の3点を基本方針として位置づけました。



1 生徒が主体的に関わりながら学びを進める

(1)Unitの最初に全体の目標を，Partにはそのの目標を明示することで，生徒にも学習到達目標がはっきりわかり，何ができるようになるかを意識しながら，主体的に学習を進めることができるようにする。

(2)ペアワークやグループワークなどを通して，主体的・対話的な学習が進められるようにする。

2 コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける

(1)Unitを構成するPartには，取り扱う語彙や表現などを明示し，身に付けるべき基礎的な学習内容が一目でわかるようにする。

(2)言語材料への慣れ親しみ，知識・技能の習熟，活用・定着という学習過程を踏みながら基礎的な資質・能力を身に付けられるよう紙面構成を工夫する。

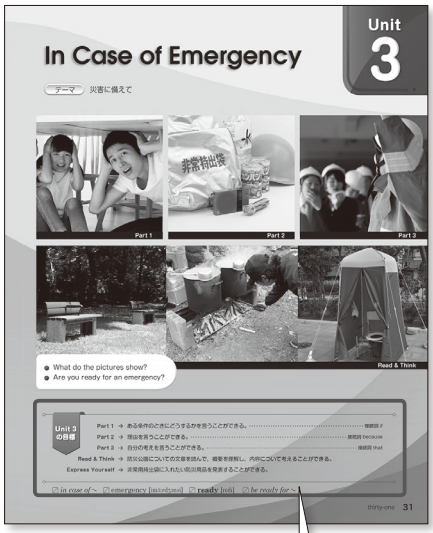
3 知識・技能を活用して，思考力・判断力・表現力を育成する

(1)生徒の知的な好奇心に応える題材を多く扱い，生徒の思考力・判断力・表現力を養えるようにする。

(2)コミュニケーションの目的・状況・場面を意識して**4技能5領域**を活用し，生徒自身が課題を見つけ，自ら学び，自ら考え，判断し，行動する力が養えるようにする。

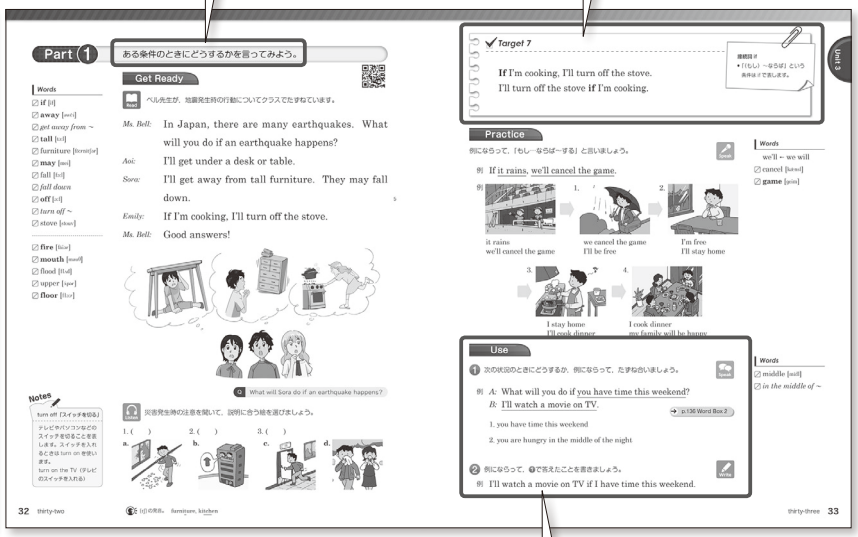
1 生徒が主体的に関わりながら学びを進める

- 学習の進めやすさを考慮して，各**Part**は**見開きで構成**しています。
- **Unit**と**Part**の最初には**学習到達目標(Unitの目標，Partの目標)**を明示し，生徒自身が何ができるようになるかを意識しながら，自律的に学習を進められるようにしました。
- 各**Part**で重要なキーセンテンスを**Target**として示し，身に付ける言語材料を明確にしました。
- ペアワークやグループワークなどを通して，**主体的・対話的な学習**が進められるようにしました。



(Unit 3　p.31)

Unit全体の目標



(Unit 3　p.32-33)

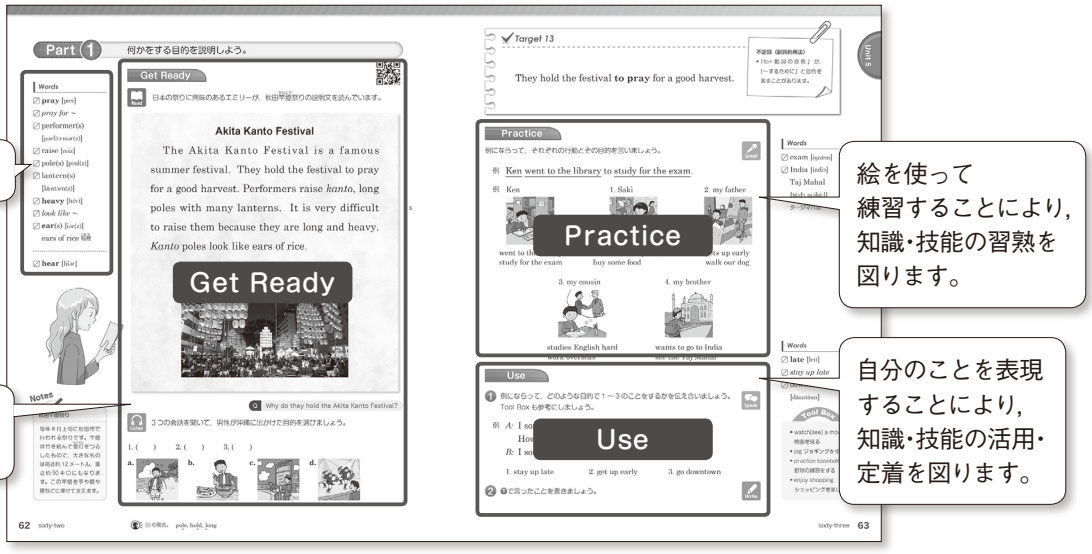
Partの目標

Partのキーセンテンス

ペアワーク，グループワークなどで，自分のことを表現する

2 コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける

- 各**Part**は**Get Ready**，**Practice**，**Use**で構成され，言語材料への慣れ親しみ，知識・技能の習熟，活用・定着という細かい学習過程を踏んで基礎的な知識・技能が身に付くよう配慮しました。
- **新出語**を欄外に**Words**として示し，学習の参考にできるようにしました。特に，中学校までで身に付けておきたい**CEFR-J**の**A1**レベルの語彙は太字で示しました。



(Unit 5　p.62-63)

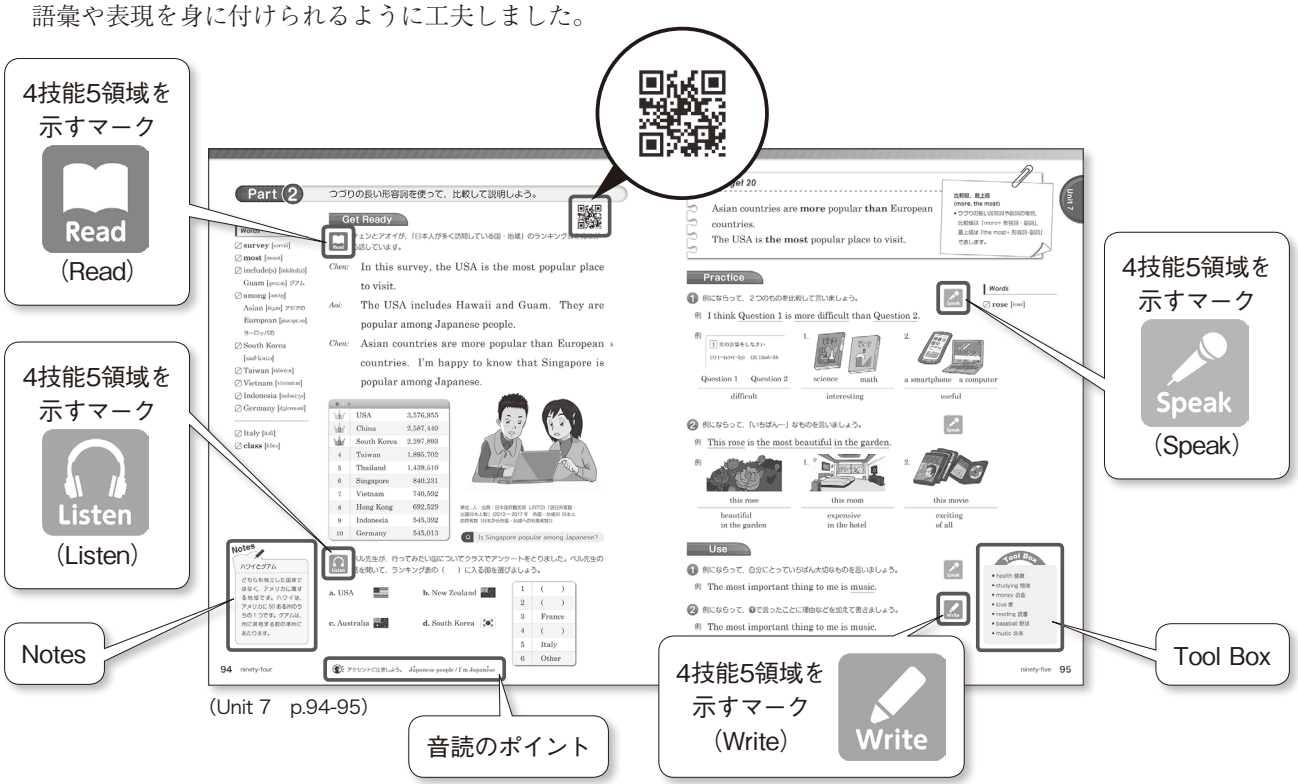
新出語

音声に慣れ親しみます。

絵を使って練習することにより，知識・技能の習熟を図ります。

自分のことを表現することにより，知識・技能の活用・定着を図ります。

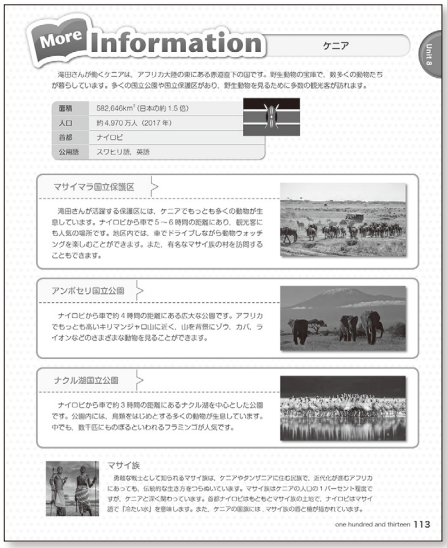
- 「聞くこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「読むこと」「書くこと」の**4技能5領域を示すマーク(** Listen Speak Speak Read Write **)**を問題の横に表示し，身に付けるべき技能を意識しながら学習が進められるようにしました。
- 題材に関する付加情報などを紹介するコラムを**Notes**として適宜設定し，さらに発展した学びへの興味づけができるようにしました。
- **ICT**の活用が有効な箇所には**QRコード**を掲載し，学習の助けになる教材(音声など)を活用しながら臨場感を持って学習が進められるようにしました。
- **音読のポイント**をページ下欄に掲載し，話すときはもちろん，聞き取るときの参考にもなるように配慮しました。
- 表現活動の際に必要となる語彙を**Tool Box**にまとめ，生徒が自分の言葉で表現する際の手助けとなるようにしました。
- 他教科で学んだ題材や生活用品など生徒に馴染みのある題材を取り上げ，生徒が親しみを持って，基礎的･基本的な語彙や表現を身に付けられるように工夫しました。



(Unit 7　p.94-95)

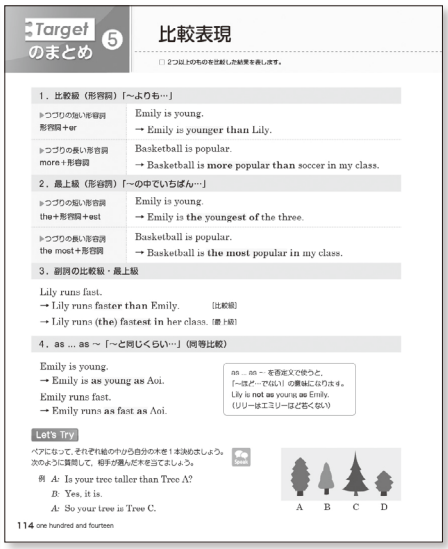
- **Unit**末の**More Information**では，Unitで学んだ内容の補足情報を読むことで，理解を深めることができます。
- 学期末の**Targetのまとめ**では，複数の**Unit**で学んだ表現を振り返り，理解の定着を図ります。

▼ More Information



(Unit 8　p.113)

▼ Targetのまとめ

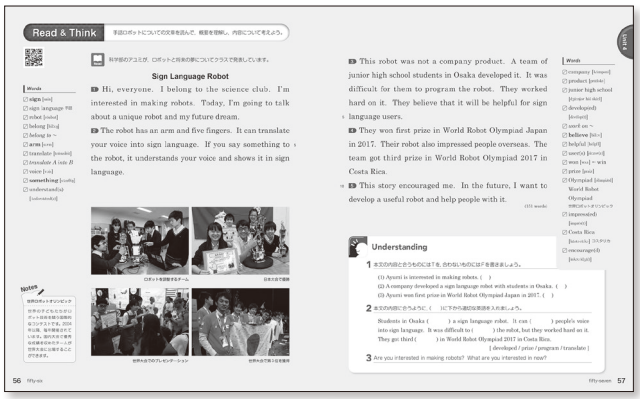


(p.114)

3 知識・技能を活用して，思考力・判断力・表現力を育成する

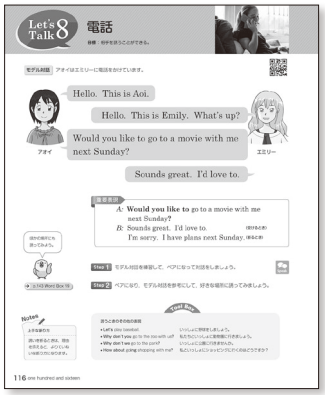
- 小学校で音声を通して身に付けた語彙・表現については，文字を通しても定着が図れるように，取り上げる題材に配慮しました。
- 場面・状況に応じて即興で対応する場面を多く取り入れ，生徒の**思考力・判断力・表現力**を養えるようにしました。
- **Unit**末の**Read & Think**では，少し長めの英文を読み，内容を大まかにつかんだり，詳しく読んだりする力を養えるようにしました。
- **Unit**末の**Let's Talk**では，身近な場面の中で既習の表現を活用して必要な情報を伝え合うなどの実践的なコミュニケーションを通して表現力を養えるようにしました。
- 学期末の**Let's Listen**では，身近な場面から必要な情報を聞き取り，適切に判断し活用できる力を養えるようにしました。
- 巻末の**Let's Read**では，長めの読み物を読み，内容について生徒が自分で思考し，判断できるようにしました。

▼ Read & Think



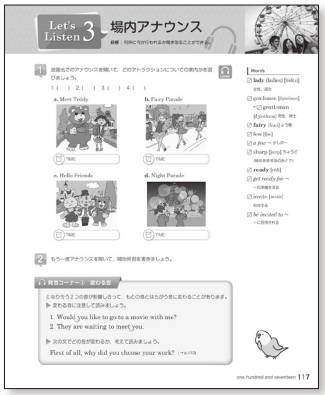
(Unit 4　p.56-57)

▼ Let's Talk



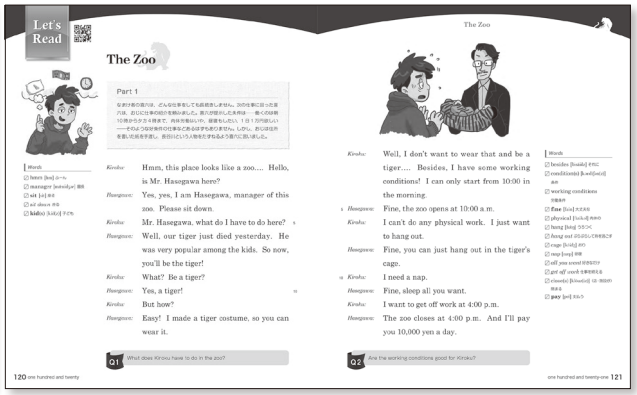
(Unit 8　p.116)

▼ Let's Listen



(p.117)

▼ Let's Read



(巻末　p.120-125)

- **Unit**末の**Express Yourself**では，**Unit**のテーマに沿った短い文章をつくり，発表することを通して，**思考力**や**表現力**が養えるようにしました。
- 学期末の**Project**では，複数の**Unit**で学んだことを生かして**4技能5領域**を統合的に活用することを通して，自ら課題を見つけ，自ら学び，自ら考え，判断し，行動する力が養えるようにしました。

▼ Express Yourself



(Unit 8　p.112)

▼ Project



(p.118-119)

2 対照表

教育基本法第２条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第１号 幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと。	▶英語の学習を通して，世界の文化，言語などに関する幅広い知識と教養を身に付け，豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。	p.61～71など
第２号 個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。	▶海外で働く日本人の姿などを通して，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるようにしました。	p.103～113など
第３号 正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。	▶ヒーローとは何かを考えることなどを通して，正義と責任，男女の平等を重んずるとともに，公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養えるようにしました。	p.7～17など
第４号 生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うこと。	▶動物の珍しい生態などについて知り，生命を尊び，環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。	p.73～83など
第５号 伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	▶落語などを題材として取り上げ，日本の伝統と文化を尊重し，我が国と郷土を愛する心を養えるようにしました。	p.120～125など
	▶日本と外国との禁止事項の違いや共通点などを知ることで，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。	p.24～25など

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育・ユニバーサルデザインへの対応

●特別支援教育の専門家の監修の下，まぎらわしい記号の使い方をしないなど，すべての生徒が支障なく学習できるよう配慮しました。

●教科書全体を温かみのあるやさしい色使いでシンプルなデザインにし，誰にでも必要な情報が伝わるよう心がけました。これにより，**メディア・ユニバーサル・デザイン協会** (MUD) による認証を申請しています。

編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表，配当授業時数表）

受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
31-115	中学校	外国語	英語	第２学年
発行者の番号･略称	教科書の記号･番号	教　科　書　名		
61 啓林館	英語 806	BLUE SKY English Course 2		

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 基礎的な知識･技能を確実に習得できるよう，スモールステップによる学習場面を設定する

●教師にも生徒にも授業の流れがイメージできる紙面構成にしました。
●コミュニケーション活動の基礎となる知識･技能が，十分親しみながら，細かい学習の過程を経て，確実に身に付くよう配慮しました。

Get Ready 具体的な場面を通して，語句，表現及び音声に慣れ親しみます。
Practice 絵を使って新出表現を練習することにより，知識･技能の習熟を図ります。
Use ペアワークやグループワークなどで，自分のことを表現することにより，言語材料の活用･定着を図ります。

2 生徒が臨場感を持ちながら，主体的に学習を進められるようにする

●生徒が自身の問題として主体的に学習を進められるよう，身近な題材や興味深い題材の選定，場面の設定を考慮しました。
●グローバル化する社会の中で英語話者の広がりや多様性を実感できるように，様々な国のキャラクターを設定し，生徒が実際の言語の使用場面を想起しながら臨場感を持って学習が進められるように工夫しました。

Emily Hill（エミリー･ヒル）	Chen Lee（チェン･リー）	Moana Bell（モアナ･ベル）	Nakata Sora（中田空）	Sato Aoi（佐藤あおい）
				
アメリカ	シンガポール	ニュージーランド	日本	日本

3 バランスよく,4技能5領域にわたるコミュニケーション能力の基礎が身に付くようにする

●聞く，話す(やり取り)，話す(発表)，読む，書くの様々な場面において，生徒が既習の言語材料を活用する機会を設け，状況に応じて求められる技能を身に付けられるようにしました。
●目的や場所，状況などに応じて，様々な話題に関する情報などを推測しながら理解したり，表現したり，伝え合ったりできる力を養えるようにしました。

1 教科書の構成

●**8**の**Unit**を中心に，各学期の配分を以下のように設定しています。

（　）内は配当時数

1学期 (36)	Unit 1 (10)	Unit 2 (10)	Unit 3 (10)	Targetのまとめ (2)	Let's Listen ① (1)	Project ① (3)
2学期 (36)	Unit 4 (10)	Unit 5 (10)	Unit 6 (10)	Targetのまとめ (2)	Let's Listen ② (1)	Project ② (3)
3学期 (31)	Unit 7 (10)	Unit 8 (10)	Targetのまとめ (2)	Let's Listen ③ (1)	Project ③ (3)	Let's Read (5)

※2学期制では，**Unit 5**までが前期，**Unit 6**以降が後期となります。

●各学期の配当時数には余裕を持たせていますので，学級や生徒の実態に応じて柔軟に扱うことができます。
●学期末には**Project**を設定し，**4技能5領域の統合的な活用**を図れるようにしています。また，ペアワークやグループワークなどの協働学習を通して，**主体的・対話的な学習**が進められるようにしています。
●巻末には**Can-Doリスト**を掲載し，**学習事項の振り返り**と**自己評価**が行えるようにしています。

2 Unitの構成

とびら／ Part 1〜3	**文字・音声への慣れ親しみ，基礎的な知識・技能の習熟・活用・定着** ・**Unit**全体，各**Part**の学習到達目標を明示 ・学習する語彙・言語材料の明確化	6時間
Read & Think	**Part 1〜3を踏まえた統合的な読解力の向上** ・具体的な場面設定	2時間
Express Yourself	**自分の言葉での表現** ・短い文章による発表	1時間
More Information	**関連内容の補足資料** ・関連内容の補足と理解の深化	1時間
Targetのまとめ	**言語材料の振り返り(学期末)** ・表現・文法のまとめ	2時間
Let's Talk	**実際の場面に即したコミュニケーション力の向上** ・既習の言語材料を使ったコミュニケーション活動	1時間
Let's Listen	**聞いて情報を活用する力の向上(学期末)** ・身近な場面での聞き取りをもとにした言語活動	1時間

※**Targetのまとめ**，**Let's Listen**は学期末に設定しています。

● **Unit**は，**とびら／Part 1〜3**，**Read & Think**，**Express Yourself**，**More Information**，**Targetのまとめ**，**Let's Talk**，**Let's Listen**で構成しており，各**Part**には見開き**2**時間と余裕を持たせて時間配当をしていますので，状況に応じて，繰り返し練習やデジタル教材などを使った追加の活動を行うこともできます。

◆教科書の観点別特色

観点	留意点	該当箇所
教育基本法・学習指導要領の遵守	①教育基本法及び学習指導要領で示された目標を達成するため，次の基本方針の下，編修しました。 ・生徒が主体的に関わりながら学びを進める ・コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける ・知識・技能を活用して，思考力・判断力・表現力を育成する	全般
資質・能力の育成，Society5.0で求められる課題解決能力の育成	①【知識・技能】紙面に**新出語**や**キーセンテンス**を**Target**として明示して，身に付ける学習内容が一目でわかるようにしました。 ②【知識・技能】細かいステップを踏んだ活動を通じて，**基礎的な知識・技能**が養えるようにしました。 ③【思考力・判断力・表現力】各学期末の**Project**には，既習の言語材料を使って**場面や状況に応じて考え，判断し，表現する**活動を設定しました。 ④【学びに向かう力】異文化理解や風習などに関連する題材などを取り上げて，生徒の**学習意欲**を高め，より**深い学び**へと導けるようにしました。	①p.8～9など ②Get Ready →Practice →Use ③p.46～47など ④p.71,113など
主体的・対話的で深い学び アクティブ・ラーニング	①ペアワークやグループワークなどによる**主体的・対話的な学習**が進められる教材を多く設定しました。 ②音声などを使った様々な活動を通して，**主体的・対話的で深い学び**ができるよう配慮しました。 ③各学期末の**Project**では，場面や状況を考え自ら判断する問題を扱いました。	①Use，Project，Let's Talk ②QRコードなど ③p.46～47, 88～89, 118～119
学びの見通し・振り返り	①生徒が見通しを持って学習が進められるように，Unitの最初に**Unitの目標**，各Partに**Partの目標**を明示しています。 ②**Unit**の学習を振り返ることができるように，学期末に**Targetのまとめ**を設定しています。 ③1～3年生を通した目標をもって学習したり，振り返って自己評価したりできるように，巻末に**Can-Doリスト**を掲載しました。	①Unitの目標，Partの目標 ②p.42～43など ③p.158
内容・配列・分量	①生徒の身近な場面から導入を図るなど，**自然に英語に接する**ことができるよう配慮しました。 ②**時間内に授業を終えられる**ような題材・分量を設定しました。 ③小学校からの学習がスムーズにつながるように，『Let's Try!』『We Can!』を参考にして言語材料を構成・配列しました。	全般
コミュニケーション活動	①生徒の身近な題材を使った**コミュニケーション活動**を通じて英語の学習ができるように配慮しました。 ②学期末の**Project**では，**4技能5領域を統合する活動**を設定し，コミュニケーション活動を図れるようにしました。	①Use，Let's Talk ②p.46～47, 88～89, 118～119
4技能5領域への対応	①「聞くこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「読むこと」「書くこと」の**4技能5領域**の内容を各Unit内で適切に取り上げ，問題の横に，該当する4技能5領域を**マークで表示**して，身に付ける知識・技能を明確にしました。	全般
評価への対応	①学期末の**Targetのまとめ**では，キーセンテンスの定着度を評価することができます。 ②巻末の**Can-Doリスト**では，生徒自身が学習を振り返ることで，自己評価ができるようにしました。	①p.42～43など ②p.158
他教科との関連	①（国語）落語を扱いました。 ②（社会）世界の国の祭りなどを扱いました。 ③（数学）グラフやランキング表を扱いました。 ④（理科）ユニークな動物の生態を扱いました。 ⑤（音楽）英語の歌を扱いました。 ⑥（保健体育）イギリスで誕生したネットボールを扱いました。 ⑦（道徳）本当のヒーローについて考えることを通して，正義と責任，男女の平等を重んずる態度が育てられるようにしました。	①p.120～125 ②p.61～71 ③p.91～101 ④p.73～83 ⑤p.126～127 ⑥p.98～99, 101 ⑦p.7～17

観点	留意点	該当箇所
小中の連携	①1年の巻頭には小学校の復習**Let's Start**を設定し，小学校からの学習がスムーズにつながるよう配慮しました。 ②小学校の『Let's Try!』『We Can!』で学習した語彙・表現をもとに**スパイラルな学習**ができるよう題材を選定しました。	①1年p.8～21 ②全般
カリキュラム・マネジメントへの対応	①各Partは，**Get Ready**，**Practice**，**Use**という展開を通じて，知識・技能の提示・習熟・活用・定着がスムーズにできるよう配慮しました。 ②年間で25時間の**予備時間**を設け，学級の実態に応じた指導ができるよう配慮しました。	全般
教師支援	①Unitの各Partに見開きで2時間という**余裕を持たせた時間配当**をするなど着実に授業が進められるよう配慮しました。 ②**音声教材や映像などICTを使った教材を充実**させ，授業の中で適切に生かせるよう配慮しました。	全般
特別支援教育・ユニバーサルデザイン・SDGsへの対応	①誰もが読みやすいように文節で改行をしたり，学習のめあてを明記したりするなど，**インクルーシブ教育**に配慮しました。 ②色覚特性や障害のある生徒などにもわかりやすいよう，判別しにくい配色を避けたり，シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮をしました。これにより，**メディア・ユニバーサル・デザイン協会(MUD)**による認証を申請しています。 ③**デジタル教科書**や**拡大教科書**を用意し，生徒の様々な学習形態に対応できるように配慮しました。 ④**防災**を取り上げ，緊急時の行動について話し合えるようにしました。	①～③全般 ④p.31～41
人権，福祉，国際理解・異文化理解，ジェンダーへの配慮	①外国の様々な話題を取り上げて，自分の国との違いや共通点などに気づかせるなど，**国際理解・異文化理解**を深められるようにしました。 ②教科書には多くの人種・民族の人々を登場させています。 ③女性は赤色・男性は青色といった固定観念で性の区別をしない，男女の社会的役割を平等にするなど，**ジェンダーへの配慮**をしました。	①p.19～29など ②③全般
ICTの活用	①音声や動画などデジタル教材を使って繰り返し学習が有効な箇所には，**QRコード**を明示しました。また，QRコード対応機器以外でもデジタル教材を活用できるように，「この教科書の使い方」のページにURLを掲載しました。 ②**音声を用いた教材**を随所に設定し，臨場感を持って**対話的な学習**が進められるようにしました。	全般
家庭学習・自学自習への対応	①Unitの初めには**Unitの目標**を，Partの初めには**Partの目標**を明示し，生徒自らが**見通しを立てたり，振り返ったり**できるようにしました。 ②**Practice**や**Use**では，**例を提示**して**生徒が主体的に**学習を進められるようにしました。 ③紙面に適宜QRコード・URLを掲載して，**家庭でも音声を使って学習ができる**よう配慮しました。	全般
基礎・基本の定着	①教科書紙面に**Target**として，**キーとなる語彙や表現を明示**し，**知識・技能の習熟・活用・定着**を図りやすくしました。 ②欄外の**Words**には，特に中学校までで身に付けておきたい**CEFR-J**の**A1**レベルの新出語を太字で示しました。 ③学期末の**Let's Listen**では，身近な場面から必要な情報を聞き取り，適切に判断し活用できる力を養えるようにしました。 ④巻末の**Can-Doリスト**で学習事項を振り返り，基礎・基本の定着を図ることができます。 ⑤生徒が巻末の**Word Box**などを参考にして行う言語活動を通して，基礎・基本の定着が図れるようにしました。	①各PartのTarget ②p.8など ③p.45, 87, 117 ③p.158 ④p.136～143
家庭や地域との連携	①海外の学校へ自分の学校や行事を紹介する活動を通して，自分の地域について考えられるようにしました。	①p.46～47, 70

観点	留意点	該当箇所
オールイングリッシュへの配慮	①**Classroom English**を使って授業を進めやすい題材を扱いました。 ②**Use, Let's Talk**では，**即興的なやり取り**を促せる題材を設定しました。 ③**QRコード**や**デジタル教科書**などを使って，**ネイティブによる英語の音声**での指導ができるように配慮しました。	全般
文字・印刷・用紙・製本	①行間にゆとりを持たせ，文章が読みやすくなるように配慮しました。 ②大きな判型(AB判)を採用してイラストや写真を効果的に掲載することで，学習効果が上がるよう配慮しました。 ③針金を使わず堅牢な「あじろ綴じ」製本を採用し，ページを大きく開けるよう配慮しました。 ④書き込みやすく消しやすい軽量で丈夫な用紙を採用しました。 ⑤アレルギーや環境に配慮し，**植物油インキ・再生紙**を使用しました。	全般

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	3学期制	2学期制
1. What is a Hero?	(1)アイウエ，(2)アイウ， (3)①アイウエオカ，②アイ	p.7〜18	10	1学期(36時間)	前期(56時間)
2. Traveling Overseas	(1)アイウエ，(2)アイウ， (3)①アイウエオカ，②アイ	p.19〜30	10		
3. In Case of Emergency (Targetのまとめ，Let's Listenを含む)	(1)アイウエ，(2)アイウ， (3)①アイウエオカ，②アイ	p.31〜45	13		
Project 1 学校を紹介しよう	(1)イウエ，(2)アイ， (3)①アウオカ，②アイ	p.46〜47	3		
4. My Future Dream	(1)アイウエ，(2)アイウ， (3)①アイウエオカ，②アイ	p.49〜60	10	2学期(36時間)	
5. Festivals Have Meanings	(1)アイウエ，(2)アイウ， (3)①アイウエオカ，②アイ	p.61〜72	10		
6. Unique Animals (Targetのまとめ，Let's Listenを含む)	(1)アイウエ，(2)アイウ， (3)①アイウエオカ，②アイ	p.73〜87	13		後期(47時間)
Project 2 あこがれの職業を発表しよう	(1)イウエ，(2)アイウ， (3)①アイエオカ，②アイ	p.88〜89	3		
7. Let's Compare	(1)アイウエ，(2)アイウ， (3)①アイウエオカ，②アイ	p.91〜102	10	3学期(31時間)	
8. Working Overseas (Targetのまとめ，Let's Listenを含む)	(1)アイウエ，(2)アイウ， (3)①アイウエオカ，②アイ	p.103〜117	13		
Project 3 自分の意見を言おう	(1)イウエ，(2)アイウ， (3)①アイエオカ，②アイ	p.118〜119	3		
Let's Read The Zoo	(1)アイウエ，(2)ア， (3)①アウ，②アイ	p.120〜125	5		

年間配当時数　103時間(予備時間37時間)